

# 大光運輸株式会社

## 2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年2月1日～ 2023 年1月31日)



® 環境省

エコアクション21  
認証番号0008429



作成日： 2022年6月30日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要 認証・登録の対象組織・活動	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
許可の内容	5
主な環境負荷の実績 環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境経営計画の取組結果とその評価	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無 緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

当社は、益々深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用を推進します。そのため、運送業、とび・土工工事業（設備機器の搬入・搬出）、機械器具設置工事業、産業廃棄物収集運搬業の事業活動において、自主的・積極的に環境改善に取り組み、環境負荷の継続的な削減に従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

1. 当社は以下の環境課題に取り組めます。
  - ①電力消費による二酸化炭素排出量の削減
  - ②車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素の排出量の削減
  - ③廃棄物の減量・再使用・再生利用の推進
  - ④水質源の節減
  - ⑤環境に配慮した事業活動（燃費の向上）
2. これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に務めます。
3. 環境関連法規制や、環境への取り決め事項を遵守します。
4. 本方針を全従業員に周知徹底し、環境保全に関する意識の向上を図ります。
5. 当社の環境方針は、第三者からの求めに応じて、いつでも開示します。

制 定 日 2011年 8月 5日

改 訂 日 2021年 2月 1日

大光運輸株式会社  
代表取締役 前田卓雄

□組織の概要

更新日：2023年4月10日

- (1) 名称及び代表者名  
大光運輸株式会社  
代表取締役社長 前田 卓雄
- (2) 所在地  
本 社 大阪府東大阪市西石切町4丁目1番31号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 営業部課長 藤井 修 TEL：072-984-9081  
担当者 総務部事務 大田 広子
- (4) 事業内容  
一般区域貨物自動車運送事業、葎・土工工事業（設備機器の搬入・搬出）、機械器具設置工事業  
産業廃棄物収集運搬業
- (5) 事業の規模  
法人設立 1952年 10月21日  
資本金 1,800 万円

	本社	倉庫	計
従業員	27 名		27 名
延べ床面積	472.5 m <sup>2</sup>	138.89 m <sup>2</sup>	611 m <sup>2</sup>

受託した産業廃棄物の処理量

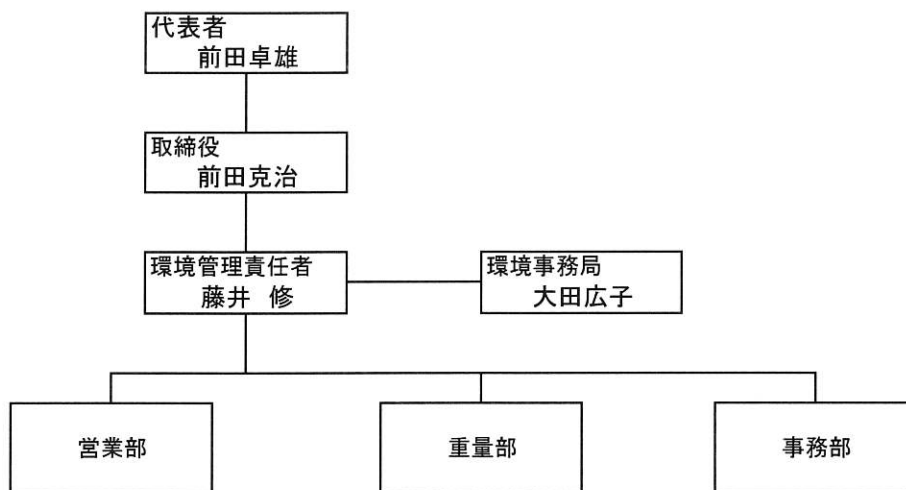
収集運搬量	0.0 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備 考
2 tトラック	4 台	
3 tトラック	2 台	
3 tユニック	1 台	
4 tユニック	2 台	
合計	9 台	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 大光運輸株式会社  
対象事業所： 本社

対象外：  
活 動： 一般区域貨物自動車運送事業、葎・土工工事業（設備機器の搬入・搬出）、  
機械器具設置工事業・産業廃棄物収集運搬業



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□許可の内容

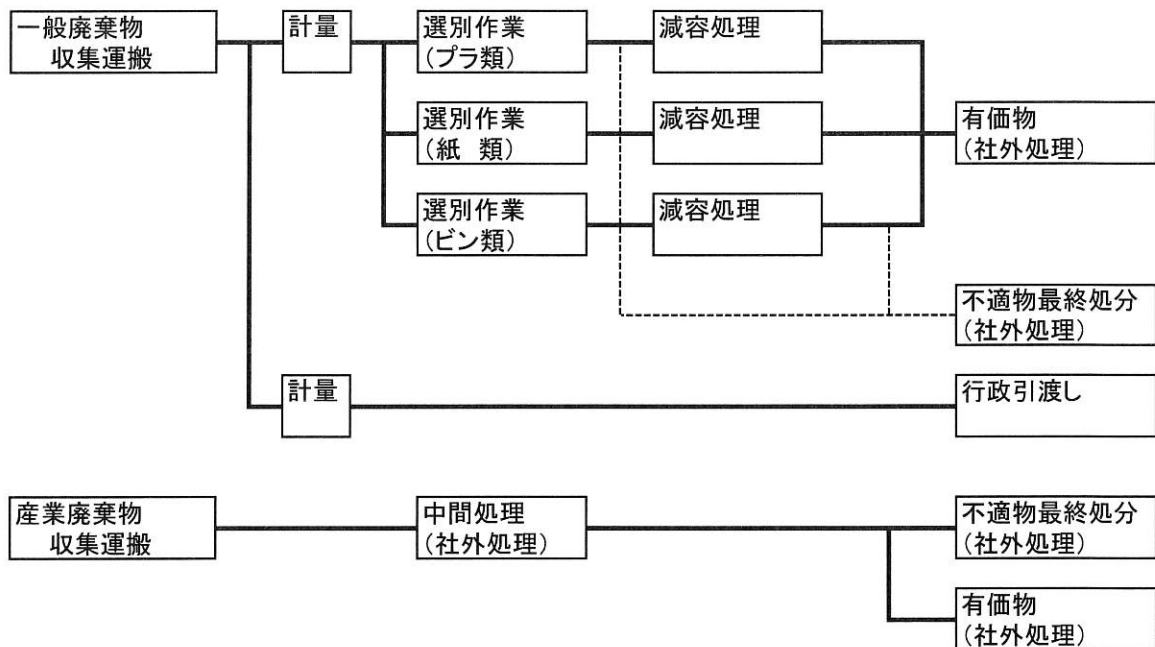
建設業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
大阪府知事	般-1 第26392号	令和1年5月13日	令和6年5月12日	とび・土工工事業 機械器具設置工事業

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類																		
					燃え殻	汚泥	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	ガラス・コンクリート・陶器くず	がれき類	廃油	廃酸	廃アルカリ	金属くず	動植物性残さ	鉱さい				
大阪府	2700057816	平成30年12月22日	令和5年12月21日	無			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
兵庫県	2803057816	令和3年10月9日	令和8年10月8日	無			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
滋賀県	2501057816	令和3年10月13日	令和8年10月4日	無			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
奈良県	2900057816	令和1年8月31日	令和6年8月30日	無			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
京都府	2600057816	平成29年1月23日	令和9年1月22日	無			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	93,093	90,239	80,606
受託収集運搬量	トン	16.0	16.0	0.0
受託中間処理量	トン	0	0	0
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン	0.450	1.540	1.580
一般廃棄物排出量	トン	0.450	1.540	1.580
産業廃棄物排出量	トン	0	0	0
水使用量	m <sup>3</sup>	439	466	524

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社の調整後の係数

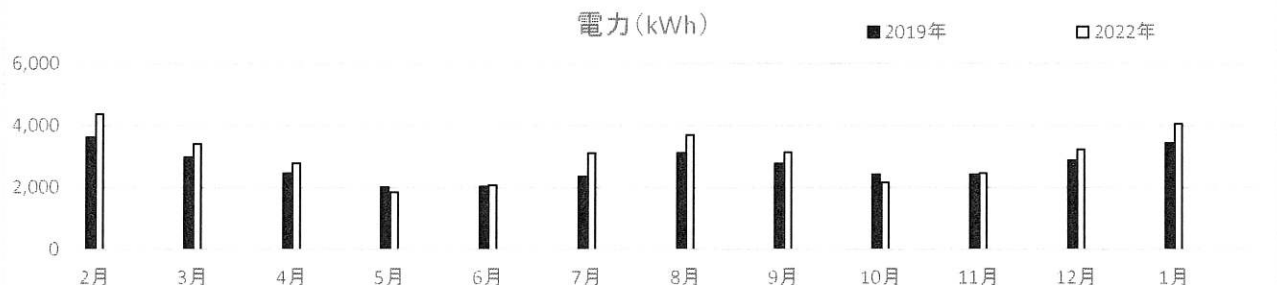
□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
			上段:	通期			
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	13,560	13,288	15,186	×	13,017	12,882
	基準年度比	2019年	98%	112%		96%	95%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	389	381	432	×	373	369
	基準年度比	2019年	98%	111%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	76,138	74,616	64,988	○	73,854	73,093
	基準年度比	2019年	98%	85%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	90,087	88,285	80,606		87,245	86,344
一般廃棄物の削減	kg	455	423	1,580	×	423	410
	基準年度比	2019年	93%	347%		93%	90%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	546	519	524	×	502	491
	基準年度比	2019年	95%	96%		92%	90%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

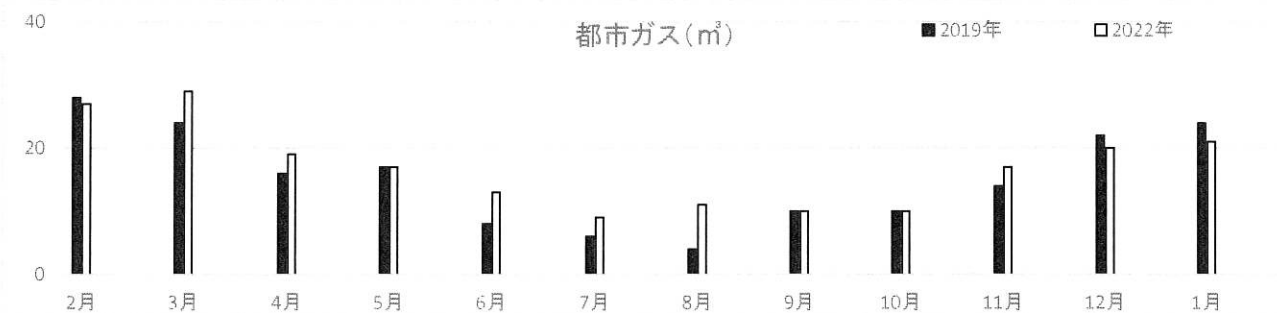
数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減 数値目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	電気消費については、コロナウイルス対策の為事務所の開放という事があり、上手に換気や消毒をすることによって過ごす事が出来るようになってきた。平行して熱中症対策も必要でエアコンを上手に動かして行かなければならない。
・不要照明の消灯	△	
・ノー残業デーの実施	△	
・待機時間短縮	○	



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	3,625	2,980	2,468	2,018	2,029	2,356	3,112	2,769	2,424	2,424	2,880	3,442
2022年	4,367	3,404	2,784	1,856	2,078	3,114	3,695	3,137	2,158	2,463	3,221	4,052

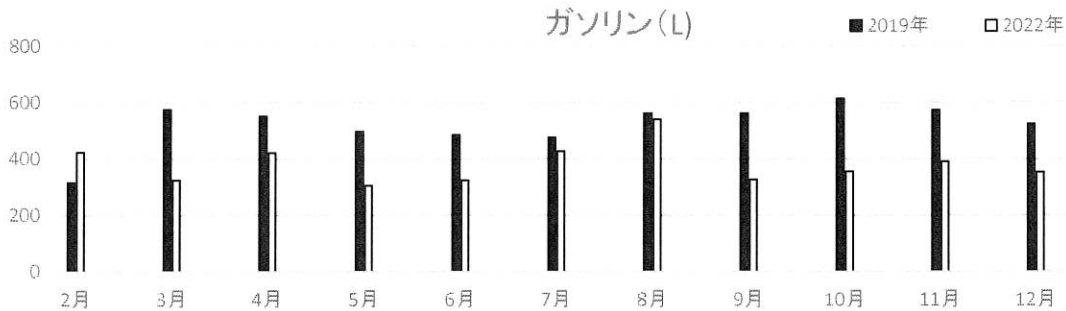
都市ガスによる二酸化炭素削減 数値目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・温水温度の適正化	○	ガスの消費は、衛生上仕方ないかと思う。今年はコロナ対策に振り回されている。出来る限りのECO活動は心掛けているが色々な事が変わってきている。しかしながら、ECO活動を諦めるのではなく、状況に見合った活動にしていこうと心掛けたい。



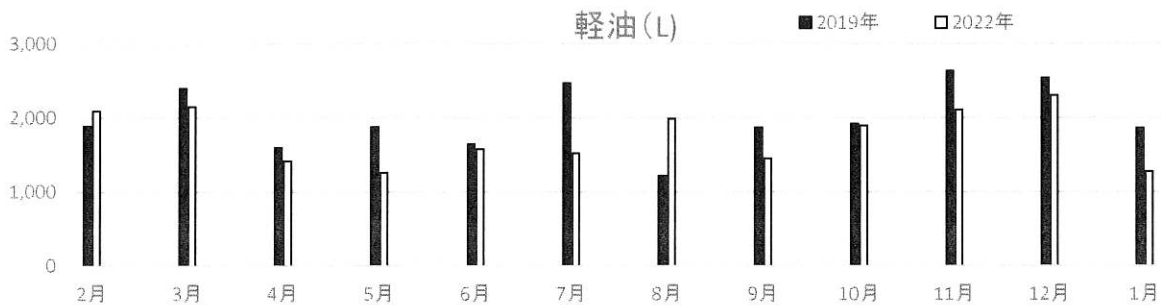
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	28	24	16	17	8	6	4	10	10	14	22	24
2022年	27	29	19	17	13	9	11	10	10	17	20	21



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	コロナ対策等での出勤車両の増加は仕方のないことかもしれないが、自分のミス(道具わずれ等)で車両の出動は極力減らすように指示。従業員のうち、仕方のない事と未然に防ぐ事ができるように心掛けるように指示。車内での空調服を使うことによって温度設定を下げる必要が無くなるようにも考えていくようにする。燃費の評価は月次評価は達成できた。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートを選定	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	

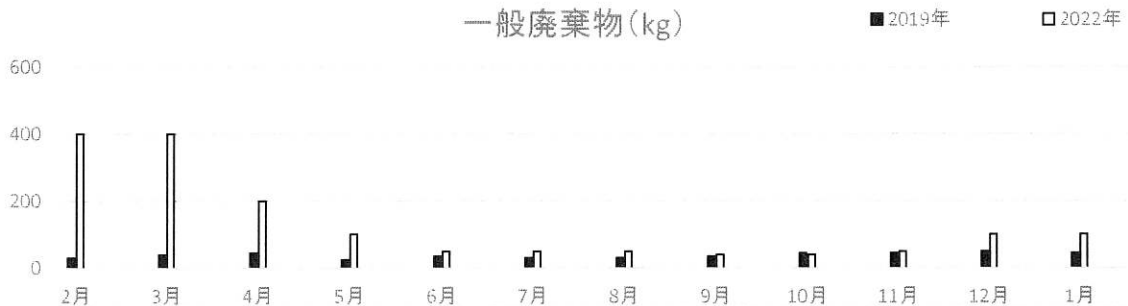


	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	315	574	551	496	485	475	562	562	614	572	524	480
2022年	423	325	420	305	325	426	540	326	355	390	353	429



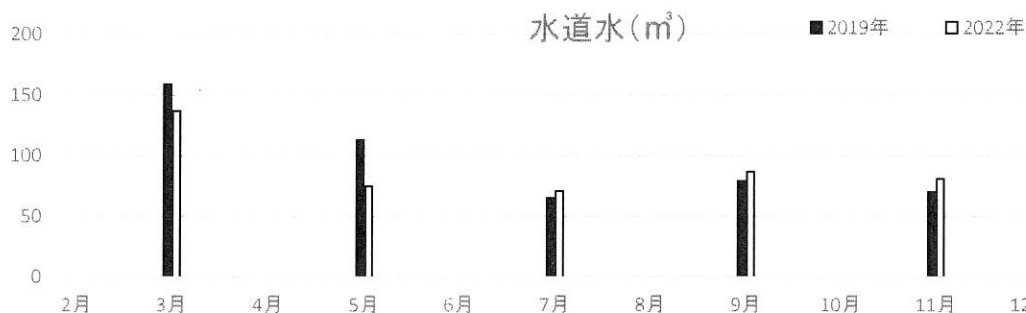
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	1,894	2,400	1,602	1,877	1,645	2,469	1,216	1,871	1,922	2,633	2,538	1,861
2022年	2,098	2,150	1,414	1,261	1,576	1,521	1,987	1,451	1,895	2,107	2,305	1,273

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	古紙回収等仕方がないが、丁寧に梱包ばらしをするように各々が気を付ける。丁寧にすることによって後の作業も楽になる事もわかってもらえるように指導。それは引取にきて貰う業者さんに対しての配慮と思う。これからも継続。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	30	40	45	25	35	30	30	35	45	45	50	45
2022年	400	400	200	100	50	50	50	40	40	50	100	100

水道水の削減 数値目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	×	今の所のコロナ対策は清潔な行い。と判断する。手洗い・うがいを推奨する。継続します。事務所棟のリホーム後の水道はセンサー付きで出しっぱなしにはならないので、目標は達成できませんでしたが、削減。
	○	



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	0	159	0	113	0	65	0	79	0	70	0	60
2022年	0	137	0	75	0	71	0	87	0	81	0	73

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検 (タイヤの空気圧・エンジンオイルの点検)	○	同一の車ばかりに乗る訳ではないので、調子が悪ければ連絡を取って早めの対処をするという事を徹底して行う。
・エコドライブに努める	○	
・急発進、急加速はしない	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・人材確保	○	引き続き、携帯電話で出勤時間・作業内容等の変更の伝達ができている。現場・リース品等の引取先の地図等も携帯で確認も出来ている。タイムカードによる実労働時間の把握に努め、従業員の有給休暇等を消化できるように務める。
・働き方改革	○	
・新車の購入	○	
0	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無  
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	処理基準の遵守、保管基準の表示、マニフェスト交付、状況報告、運搬時の表示、書類携行
大阪府条例（流入車規制） 自動車NoxPM法	大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条の16流入規制 自動車排ガス低減
道路運送車両法	保安基準、点検・整備
道路交通法	過積載、停車、駐車 保有車両の整備記録（法定車両点検）
フロン排出抑制法	フロンを使用した装置の解体時に工程管理票交付、冷媒回収技術センター報告、 業務用空調機器の定期点検（簡易点検）
顧客要求事項	大阪府トラック協会及び業界の取り決めの遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

10-2 緊急事態記録

緊急事態記録

発生（実施）日	令和4年6月23日	代表者	環境管理 責任者	報告者
区 分 (該当項目を■)	<input type="checkbox"/> 緊急事態発生 <input checked="" type="checkbox"/> 対応訓練（追突事故） <input type="checkbox"/> 手順確認テスト	前 田	藤 井	藤 井
緊急事態の発生、 訓練又はテスト の内容	<p>「交通事故」を想定し、事故発生の場合、緊急対応を適切に行うことにより、搭乗者の安全確保、火災発生の防止、近隣住民の安全を確保するための訓練をする。</p> <p>（負傷者や物損が発生した場合）。</p> <p>① 負傷者の救急処置を行う。            ② 後続車両の障害にならない場所へ移動する。            ③ 救急／警察へ事故発生を通報する。            ④ 自社担当者へ連絡を行う。            ⑤ 会社担当者の指示に従い行動する。</p>			
訓練、テストの場 合；参加者	重量部 川崎 勇・岩本行市・山本英祐・山本紀博・原 綱義・土居高浩 山口雄司・増田達也・藤原正和・東 将勲・小林和樹・上野祥吾 山田義人・扇本 誠・高橋進一・山野吏希・中道貴恵			
担当部署 責任者	重量部部长 前田克治・前田卓雄・藤井 修			
問題点 再発防止策 水平展開 確認事項等	前回と同様に会社に連絡する際は5W1Hに則り連絡する。			
手順書変更	手順書変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (該当欄を■) ★有の場合			
備 考				

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年4月30日

<p>【前回の指示への取組結果】</p> <p>経費削減は出来ているが、忙しい期間が多く、光熱費(CO2)の低減が未達である。</p>	
<p>&lt;情報&gt;</p> <p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) コロナ禍で従業員に対する予防対策は万全にしてきた。</p>	<p>&lt;見直し・指示&gt;</p> <p>◇環境方針 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり</p>
<p>◇環境目標・活動計画の達成状況 コロナ禍で密にならないように車両を1台追加して現場に行く機会があり、軽油代は増えているが、軽油量は削減しています。</p>	<p>◇環境経営目標・環境経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更あり</p>
<p>◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等</p>	<p>◇その他 ・実施体制 <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し <input type="checkbox"/> 変更あり</p>
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <p>昨今、コロナ禍の中で事務所内等で空気の入替が必要なため、エアコンや換気設備の節電に努めていない状況。感染対策をしながらも、水道光熱費を削減する方法を探していきたい。</p>	